

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の理論と 相談援助の展開 I B (DA318) (実践的教育科目)			担当教員	齊藤 晋治 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティ ブ・ ラーニング の 類 型
この授業の目的は、精神科リハビリテーションにおける支援技法、サービス、ネットワーキング、セルフヘルプ、精神保健福祉ボランティア等について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。							①⑤ ⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	精神科リハビリテーションにおける支援技法や精神科リハビリテーションサービスについて、その内容と意義を正確に説明することができる。				定期試験 予習復習の実施状況		60% 15%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。				ディスカッション内容		5%
協働・課題解決力	心理教育についてグループで報告することができる。				グループ発表		10%
多様性理解力	地域を基盤としたリハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について、その内容を整理し、説明することができる。				レポート		10%
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験（60％）では、精神科リハビリテーションに関する用語の内容を正確に説明することができるかを評価する。レポート（10％）では、地域を基盤としたリハビリテーションの重要性について、基本的内容を整理したうえで、自分の意見を提示することができるかを評価する。レポート課題は、授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、心理教育についてのグループ発表 10％、予習復習の実施状況 15％、ディスカッション内容 5％で評価する。すべての提出物は、次回の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。							
授 業 の 概 要							
精神科リハビリテーションにおける支援技法、サービス、ネットワーキング、セルフヘルプ、精神保健福祉ボランティア等などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。担当教員は、精神保健福祉士として精神科病院でカウンセリングや医療相談、ソーシャルワーク等で、精神科リハビリテーションの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。また、厚生労働省が定める「精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針」において、実務経験を有する教員に関して「精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する者」と規定されており、担当教員は該当する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I（第2版）中央法規出版 参考書：精神保健福祉士養成セミナー編集委員会「精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II（第6版）」へるす出版 指定図書：図説リカバリー医療保健福祉のキーワード 野中猛 中法法規出版							
授業外における学修及び学生に期待すること							
① 授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ② 出席は最低限のルールとする。 ③ 授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 医療機関における精神科リハビリテーションの展開①	授業の概要、進め方、評価等の確認 作業療法・レクリエーション療法について説明する	予習：テキスト 188-199 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
2	医療機関における精神科リハビリテーションの展開②	集団精神療法、行動療法、認知行動療法、SST について説明する	予習：テキスト 200-214 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
3	医療機関における精神科リハビリテーションの展開③	家族教育プログラム、精神科デイケアについて説明する	予習：テキスト 215-231 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
4	医療機関における精神科リハビリテーションの展開④	医療機関のアウトリーチ、チーム医療の概要、他職種連携について説明する	予習：テキスト 232-255 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
5	精神障害者の支援モデル①	精神障害者支援の実践モデルの意味と内容について説明する	予習：テキスト 258-271 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
6	精神障害者の支援モデル②	代表的な精神障害者支援の実践モデル(治療モデル、生活モデル、ストレスモデル) について説明する	予習：テキスト 258-271 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
7	相談援助の過程および対象との援助関係①	地域を基盤とした相談援助、ケースの発見、受理面接と契約について説明する	予習：テキスト 274-284 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
8	相談援助の過程および対象との援助関係②	課題分析について説明する	予習：テキスト 285-289 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
9	相談援助の過程および対象との援助関係③	支援計画について説明する レポート課題を提示する	予習：テキスト 290-293 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
10	相談援助の過程および対象との援助関係④	支援の実施と経過の観察について説明する	予習：テキスト 294-297 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
11	相談援助の過程および対象との援助関係⑤	効果測定と支援の評価、終結とアフターケアについて説明する	予習：テキスト 298-303 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
12	相談援助のための面接技術	面接を効果的に行う方法、面接技法について説明する	予習：テキスト 306-321 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
13	スーパービジョンとコンサルテーション①	スーパービジョンについて説明する	予習：テキスト 324-332 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
14	スーパービジョンとコンサルテーション②	コンサルテーションについて説明する レポートの提出期限	予習：テキスト 333-345 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
15	まとめ	後期の振り返り	予習：テキストの後期分を読み返す。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
16	定期試験		